

入場無料 先着300人

参加申込はコチラ



映画上映

骨髄等移植普及・啓発イベント
～企画・主演 樋口大悟氏によるパネルトーク～

開催日 令和7年11月22日(土) 開始 13:00 (開場 12:30)
場所 徳島文理大学高松駅キャンパス ムラサキキネンホール



骨髄移植経験者が演じる「いのち」の物語

白血病の青年と骨髄提供を依頼された女性
出会うことのない「患者」と「ドナー」二人を支える人たちの葛藤を描く
まったく新しい「医療エンターテインメント」

樋口大悟
松本若菜
岡田浩暉

武藤令子
大西武志
森下能幸

池田良
中村久美
小笠原大晃
柿本りーね
榎本桜
鈴木周哉
伊澤恵美子

2023年
全国劇場公開作品

みんな生きている ～二つ目の誕生日～

企画・原案・脚本・監督: 樋口大悟 脚本・監修: 岡沢和幸「ナースのお仕事」プロデューサー: 川田亮 榎本桜 エンディングテーマ「僕のヒーロー」作詞: もろさわ和幸 作曲: 鈴木周哉
ラインプロデューサー: 坂田伸也 音楽: 鈴木周哉 撮影: 上野彰吾 usco 美術: 津留啓亮 録音: 宋普瑞 編集: 佐藤崇 助監督: 菱沼康介 片元亮 衣裳: 池田友紀 ヘアメイク: 大岩乃里子
持道具: 濱田千尋 衣裳助手: 座喜味えり奈 プロデューサー: 榎山晴香 糸魚川製作担当: 森原光昭 スチール: 渡辺貴 カリスト&VFX: 堀川実希 編集: エンジニア: 南裕貴志
リーガルアドバイザー: 堀島正人 クラウドファンディング担当: 渡谷雄大 HP担当: 後藤勝平 デザイナー: 尾野正人 宣伝プロデューサー: 山口久美子 医療指導 (骨髄移植): 吉井由美 企画協力: 榎本明子
製作: 「みんな生きている～二つ目の誕生日～」製作プロジェクト 製作プロダクション: リリポーン117 制作協力: リアルメーカーズ 宣伝・配給: ギグリーボックス
プロジェクトパートナー: 特定非営利活動法人血液情報広場・つばさ (認定) 特定非営利活動法人リブ・フォー・ライフ美奈子基金
後援: 日本骨髄バンク 糸魚川市



©2022「みんな生きている～二つ目の誕生日～」製作プロジェクト

単なる難病物ではない 全く新しい医療エンターテインメントの誕生です！

俳優の樋口大悟は、25歳の時に白血病を発症した
得意の空手を生かしてアクション俳優になるつもりだった
しかし、病気が全てを変えてしまった……



「助かるためには 骨髄移植しかない」と ドクターは言った……

俳優の樋口大悟は25歳の時に急性骨髄性白血病と診断された。
当時、彼は得意な空手を生かしてアクション俳優になるべく稽古を重ねていた。テレビや映画の世界で白血病の事は何となく知ってはいたが、自分がその当事者になるとは夢にも思っていなかった。そして彼の闘病生活は始まる。苦しい抗がん剤治療を経て、一度は寛解を迎えて退院するが、数年後に再発再入院すると、「助かるためには骨髄移植しかない」とドクターに言われた。30歳になる頃、骨髄移植を受け、彼は命を助けられる。何処の誰かも判らない、見知らぬ人の無償の善意によって、第二の人生を手に入れたのだ。健康を取り戻した彼は、白血病の実態と骨髄移植への理解、ドナー（骨髄提供者）を見つけてくれた骨髄バンク普及のための講演活動を開始する。そして、その集大成として自分の体験を元にした映画製作に乗り出したのだ。脚本・監督は、「ナースのお仕事」ほか数々の人気ドラマを手掛けてきた両沢和幸。樋口の熱い思いに賛同し、企画段階から参加。ドナーの美智子役を務めるのは、CX系「やんごとなき一族」TX系「復讐の未亡人」などの話題作に出演し注目を浴びる松本若菜。強くも優しい一児の母を演じている。そして、日本骨髄バンクが初期段階から監修を行い、実際の医師や看護師の協力のもと撮影が行われた。

白血病などの難病を題材にした映画はこれまでも沢山あった。しかし、この映画はそれらのどれとも違う。実際に苦しい闘病生活を体験した俳優自らが



演じる圧倒的なリアリティ。そして、これまであまり取り上げられることがなかった、骨髄提供者とその家族の葛藤。決して出会う事のない患者とドナーの目に見えない繋がり。それらを描くことで、単なる難病物ではない、全く新しい医療エンターテインメントが生まれたのだ。

ストーリー

桧山大介（樋口大悟）は空手の講師をしながら、競技者としても全国大会を狙える実力者だった。ある日、稽古の最中に倒れて病院に運ばれると、白血病だと診断された。「この俺が白血病？」最初は軽く考えていたが、病気は彼の人生を大きく変えた。闘病生活のなかで体力は衰え、空手もそして恋人さえも彼の元を去って行った。そしてドクターは言った。「助かるためには骨髄移植しかありません」骨髄移植は血液を作る造血細胞を他人のものと入れ替えるという治療法だが、白血球の型が合わなければ移植は出来ない。どんなに優秀なドクターがいても、造血細胞を提供してくれるドナーがいなければ成立しないのである。彼を救う事が出来るのは、遠く新潟県糸魚川に住む桜井美智子（松本若菜）という女性だけだった。しかし彼女の家族は彼女がドナーになることに反対だった。

骨髄バンクのドナーが、どんどん減っちゃう！◆パネルトーク登壇者◆

ドナーは55歳で卒業します！

今、登録者数がいちばん多いのは40～50代です。
このままでは**10年以内に22万人以上が卒業**しちゃう。

だから、移植を待つ患者さんのためにも、

【今、あなたの力が必要です】

映画を見て、**当事者の話**を聞いて
まずは、考えるきっかけにしてみませんか

※年齢制限のため御登録いただけない方もお越しください。
周囲の方への情報共有や応援が大きな力になります。

樋口大悟（俳優・モデル・空手家）

大西宏明（血液内科医師・高松赤十字病院副院長）

大西礼華（大学生・ドナー登録説明員（ボランティア））

（司会）鍛冶匠（FM香川パーソナリティ）

◆問合せ先◆

香川県健康福祉部医療政策課

TEL 087-832-3315